

寺報

龍正寺

日なた 95号

法華経は

人生の

道しるべ

日延



<平成28年 4月>

宝龍会
護持会

らんG揖斐区研修会

に参加させていただきました
平成28年 3月 9日 (水)
日蓮宗宝雲山龍正寺(岐阜市)



「富士山を描いてみましょう」
⇒名称が1つでも捉える人の
心証で見え方が違う例を挙げて
います

ひびの人の信仰は ひびの人の芸術である。
だから、万人がこれを共有することは叶わない。
(もし、万人がこれを共有するに拒否したら) →この意味を理角解は
気がついてほしい



「ナム南無」の方向には人それぞれ思い、どの方向の不通がある



だからこそ 法華經の出会いを通じて本心に向きあえるか？
結果は定まる



お経を讀むのは、ただ讀むだけではないか
人から讀むのか (聲から) : イメージが定まっているか
情熱が込められているか



自分の思いを、その理解に乗せていくのか
できるのか



法華經との縁を自分に与えておきたいのか
高知お経を讀み入ってもらえるようにしたいのか

進藤上人の講義を聞き、いろいろ考えさせられるに時間があった。
お経を讀む時の気持ちの持ち方も変わってきた。

新年は、大垣で用いられるそうだが、是非みなさんの「LIMIT FOLLOW」
と「PRACTICE」



龍正寺で南無妙法蓮華經...

中部教区檀信徒研修道場に参加して

平成28年 3月 14日・15日
日蓮宗宝雲山龍正寺(岐阜市)



開会の挨拶
日蓮宗名古屋泉務所所長石垣上人



第1講 深澤上人
法華經の成り立ち



第2講 池上全国檀信徒協議会会長
日蓮宗と檀信徒協の目指すところ

龍正寺の本堂に「三者火宅」「長者窮子」という絵本が置いてあります。宝龍会のメンバーによる手作りです。置いてある事は知っていましたが何故置いてあるのかはよく知りませんでした。しかし、今回檀信徒研修道場に参加してその理由が分かりました。

『お釈迦様が教えを説く時に喩え話を使って分かり易く教えを説かれたそうです。その喩え話し（法華七喩）が法華經のお経になっているそうです。』

こんなお話を聞いてやっと絵本の事が理解できました。

今回で2回目の檀信徒研修道場への参加となりましたが、「法華經とは何ぞや」と問われても「さあ・・・？」と返答に困ってしまう私です。2回目の参加にしてやっと分かった事は「南無妙法蓮華經」に法華經の一番大切な物がギュッと凝縮されている。南無は「皈依する」という意味で、妙法蓮華經は「法華經に」という意味。つまり南無妙法蓮華經は「法華經に皈依する。法華經の教えに従う。」という意味なんだと。

普段は深く考えもしませんが、研修道場に参加した事で日頃の自分の取り組み方を振り返る良い機会となりました。「忙しいから・・・時間が無いから・・・」といい加減に済ませるのでなく、時間を作り出して毎日ご先祖様に寄り添える時間を持てる様になりたいなと感じました。（この辺は自分自身の仕事にも通じる物があります）

この他に、池上会長や豊田上人が話されたお話も興味深く聞かせて頂きました。

「例えば北海道に住んでいる人が転勤で福岡に引っ越したとする。転勤先ではお参りするお寺が無い。自分の菩提寺に行こうにも遠くて簡単にいく事ができない。こんな時、北海道の菩提寺の住職が転勤先である福岡の寺院を紹介してはどうか」こんな内容でした。確かにこんな仕組みがあれば、実家から遠くに離れた場所に住む事になっても実家に住んでいるのと同じように先祖供養をすることができるのでは・・・

これを読んでいる、実家から離れて岐阜に住んでいるあなた。龍正寺に一度足を運んでみてはいかがでしょうか？足を運ぶ時間が無いという方はお電話でも大丈夫です。住職・役員が待っていますよ。



懇親会にて 堀上人の挨拶



懇親会にて 佐口上人のお話



名古屋泉務所発行の
フリーペーパーの紹介



第3講 豊田上人
日蓮聖人の教え



第4講 勅使河原上人 唱題行



2日目の会場 壽元寺
本堂には龍正寺の結縁の綱と同じ様な善の綱がありました


 春季彼岸中日法要会の様子
 平成28年3月20日(日)
 日蓮宗宝雲山龍正寺(岐阜市)



お塔婆の前にたくさんのお供えがありました



一心に太鼓を叩かせてもらっています



心を込めてお焼香...



お供えを下げ皆さんで頂く準備中...デス



住職法話 「御先祖様に報恩感謝」



法要に参加された皆さんで、おはぎ・団子をおいしく頂きました



障がいをもつ子どものための

親子花まつり

5月8日(日)

11時より(10時半より受付)

会場 常在寺 本堂(岐阜市梶川町9番地)

日程

10:30 受付開始

11:00 法要

(お経)

紙芝居

甘茶

12:00 終了

参加無料!

お子様には

手作りクッキー

プレゼント♪



※お問合せ・参加申し込みは三輪まで

☎090-1982-0288 E-mail : ring-ring-ring_195@docomo.ne.jp

今から約2500年前、お釈迦様はインドでお生まれになりました。
花まつりはその誕生を子ども達とお祝いし、子どもの健やかな成長をお祈りする行事です。
お経の間、じっとしていられなかったり、声が出てしまったりしても大丈夫!
この機会にお寺のお堂の空気にふれ、仏様に手を合わせる経験をしてみてください。
お経の後は、お釈迦様誕生エピソードの紙芝居があり、甘茶が振る舞われます。
ご家族そろっておいでください。お待ちしております!

※お数珠がある方はお持ちください。

— 往 職 — 言 —

卯月(女月)は新しい事の初めです。

加行所(大荒行堂)平成11年度の再々行会研修会が北海道で開かれ、2泊3日に参加しました。

同じ修行した仲間に出会う事は嬉しく楽しみでもあり、自分の心に何か拍車がかかります、一層精進しなければと思う気持ちが高まります。

飛行機で北海道へ快晴でした、高い山脈は真っ白でした、10000mから見る国土、山ばかりであり、その中に盆地があり、家がマッチ箱の様に小さく、その中に人間が住んでいると思うと、井の中の蛙大海を知らずの言葉を思い出していました、帰りの飛行機は雲海の上でした、ところどころ雲の隙間から地が見え、天かと思う佐渡ヶ島も小さく見え、天を心を持つ事は大海を知る事、自分自身の心の小ささに気付いた旅でした。

※ 原祖日蓮大聖人の言葉の中に

『高山に登る者は必ず下り、我、人を軽しめば還つて我身、人に軽易せられ也』

高い山に登って、色々見渡していても、やがて山を下り、
ほかの人から見下ろされる存在になります。同じような立場
であって、相手を軽んじていても、やがて立場が逆転し自分
が軽く扱われるようになります。

この言葉を見、拝読した時、1時間30分の上空から下を見
た時の事を思い出していました。

夕は新しい社会の初めであり、人間同士の上下関係は、
周囲の状況によって変化することで、私たちは、あたえられた
立場によって行動しますが、人間同士は必ず対等です。
対等である事を知れば、人を軽んじることが出来なくなり、
また軽んじられても気にならなくなります。

大聖人がお説になられています、御題目の風にふれ
毎日良き日にして行きましよう。

南無妙法蓮華経

「法華経」に感謝

(お姑さん ありがとう♡)

訪問介護で御利用者宅に訪問した時の事でした。

訪問宅の老婦人のケアをしていると、"わらびのあく抜きの方法を知ってるかぬ?"と言われました。

"姑に教えてもらったやり方なら出来ますか..."と言うと"ほ~どんなやり方を教えてもらったの?"と聞かれ説明すると"私も同じやり方やよ"と言われ、その会話から山菜・嫁姑の話となりました。

その方から、"あなた、お姑さんから大~きな財産をもらったね。よかったね!"、"その財産を大切にきなさいよ。子供、孫へ伝えなさいよ"と言われました。そして... "お姑さんに感謝しなさいよ!!" 私は心か熱くなりました。本当に そうだな~と思っています。

とても色々な事がありました。母が他界して、とても大きな穴も空きました。この仕事と家族のおかげで、少しずつ気持ちも前向きになりました。今は、お姑さんの本当の優しさ・心の大きさを日々の生活の中で感謝しています。それを気がつく事が出来たのは、「法華経」のおかげです。

「法華経の七つのたとえ」を、ひとつ、ひとつ現状の生活の中で考えると、どの様な事柄にもあてはまり、悩みを解消するきっかけを頂けま

そして心がとても楽になります。

私はお姑さんに教えて頂いた数多くの事柄と、この「法華経」を最大の財産と子孫へ伝えたいと思います。

仕事で関わる方々は人生の大先輩です。その方々はまさに菩薩様です。

人生を学べる仕事が出来事に感謝しています。そして、お姑さんを通して法華経を学べた事は大きな喜びであり偉せです。

今、御先祖様、家族、人生の中で関わりの全ての方、自然界に心より感謝しています。そして自分だけが感じるのではなく、まわりの方々にも偉せになって頂きたい。何か人の為になる事をしたいと強く思います。そのような気持ちにさせて頂けるのが「法華経」です。

毎日御題目を唱えましょう。きっと幸せは近くにあります。法華経のお教えで気がくちやんを頂きましょう。

春♡新たなスタート

4月に入り、新年度の始まりですね。我が家の長女は、無事に高校生となり、準備や課題に追われています。長男、次男も進級し、新しい教材に名前を書いたり、一年間使った文具などをきれいにしてりと、忙しい毎日を過ごしています。

4月の日蓮宗カレンダーに、こんな聖語が書かれています。

「腹あしき者をは
天は守らせ給はぬ」

腹あしき者とは短気のことだそうです。

新年度となり、入学、入社される方々は、新たな気持ちで目標を立てたり、環境が変わることによって努力するべき事も増えてくるのでは無いでしょうか?!

結果がすぐに出なくても、なかなか思うようにいかなくても、焦らず、短気にならず感謝の気持ちをお大切にしていかなければならないという教えです。そういう人に、天のご守護、ご加護があるということです。

自分が正しいと思ってやったり行いに対して、誰か

に、指摘されたとしても、なかなか素直にはおかない
時もありますね。そんな時でも教えて頂いたこと感
謝をし、自分の中に吸収できたのなら成長できたこ
と証しです。昔の私は、自分の価値観ですべての
ことを見ていました。でもそれではいけないと教えて
頂き、自分に必要だから教えられていると捉え
始めると、たくさんの言葉がどんどん私の中に入って
くるようになりました。たくさんの教えが与えられて
いたとしても、それが受け取れる自分ではおかないは
気が付くことが出来ません。望めばきりがありませんが、
今の幸せがあるのもお陰様です。家族が
健康で過ごさせて頂けていることに感謝ですね。

子ども達だけでなく、主人も私もこの春から変化
を迎えています。春に咲く梅のように皆の心が
豊かになりますように……。

<4月行事予定>

- 4月 8日 (金) 10時より 釈尊降誕会
4月 13日 (水) 10時より 宗祖日蓮聖人報恩会
立教開宗会
4月 17日 (日) 13時より 大祈禱会
檀信徒・護持会総会

<住職の予定>

- 4月 12日 (月) 宗務所 協議員会
4月 26日 (火) 宗務所 伝導企画会議

<4月の予定>

- 4月 4日 (月) 各々の時間で清掃・準備
5 7日 (木) ↓ ↓
4月 8日 (金) 法要終了後、片付け・準備
4月 9日 (土) 各々の時間で清掃・準備
5 12日 (火) ↓ ↓
4月 13日 (水) 法要終了後、片付け・準備
4月 14日 (木) 各々の時間で清掃・準備
5 16日 (土) ↓ ↓